



『小説教育者』 と町田

添田知道の『小説教育者』（全4部4巻）は、明治中期に活躍した小学校長・坂本龍之輔をモデルにした長編伝記小説です。坂本は、東京市が1903（明治36）年に創設した万年小学校（現・台東区）の初代校長として、貧しい家庭の子どもたちの教育に尽力したことで、わが国の教育史に名を刻む人物です。

この坂本が、実は現在の町田市立南第一小学校の前身、開曠(かいもう)小学校で、6年間も校長を務めていたことは意外に知られていません。

この小説の第2部「村落校長記」は、坂本の町田での奮闘ぶりを生き生きと描いた大変興味深い作品です。むろん小説ですから史実と異なる記述や、想像力を駆使して書かれた部分もありますが、100年前の町田の様子を偲ぶさまざまな手掛かりを与えてくれるのも事実です。

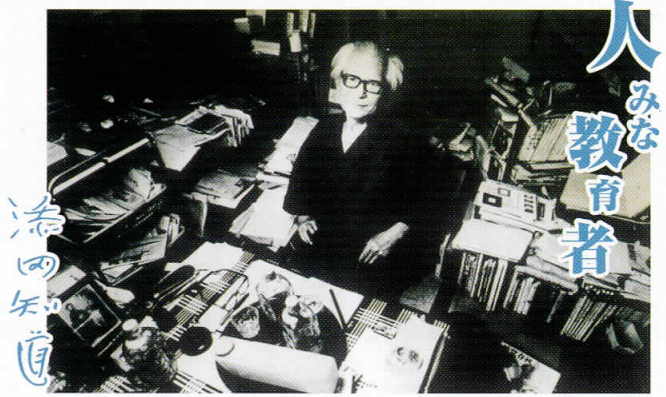
今回の展覧会は、まずこの小説の存在を広く市民の皆様にご存知いただき、実際に手に取って読んでいただきたい、と考えて企画したものです。そして、この小説をきっかけにして、“ふるさと町田”への関心をさらに深めていただければ幸いです。

《 講演会 》

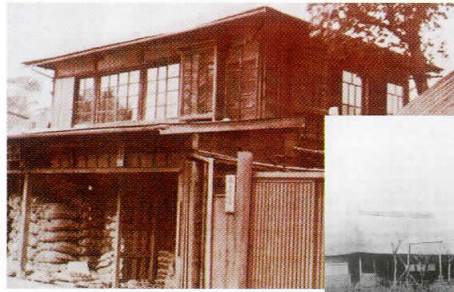
演 題 「添田知道と『小説教育者』」
講 師 木村聖哉さん
（フリーライター、『添田啞蟬坊・知道』著者）
日 時 8月5日（日） 14：00～15：30
会 場 町田市民文学館 大会議室
定 員 100名（先着順）
入場無料
申込み 7月3日（火）より来館または電話

《 展示解説 》

日 時 7月22日（日）・25日（水）
8月2日（木）・11日（土）・26日（日）
9月2日（日）
いずれも14：00～14：30
案 内 『小説教育者』を読む会会員（市民研究員）
参加費 無料
申込み 不要（展示室前に集合して下さい）

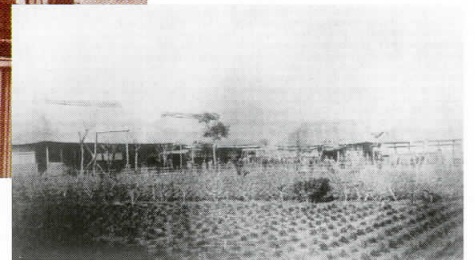


『小説教育者』の著者 添田 知道



開曠小学校
（現・南第一小学校）

日新小学校
（現・町田第一小学校）



開曠小学校卒業式
（後列中央が坂本龍之輔）

『東京府南多摩郡南村誌』
（当館「下村照路文庫」）



坂本龍之輔碑
（あきる野市牛沼）

坂本龍之輔書簡
（あきる野市「上田家文書」）

